

自動車、住宅の減少傾向続く

橋本金属
・アルミ 橋本健一郎氏リポート①

二月前半は歐州中央銀
(三)がギリヤ国債

橋本健一郎氏

輸入
輸入は電気銅が前年比三〇・七%減の四、一〇・一、スクラップ二三・一%減の七、二三三二t。

日本電線工業会発表の出荷速報（推定）によれば、前年比一・八%減の六万三千五百四〇tであった。

概况

時点で五、七三一ドル(セツル)と月初価格より一九六ドルUPの前半縮めとなつた。
後半は十六日の欧州とギリシヤの会合でギリシャが現行の救済プログラムの受入れと延長を拒否したなどの先行き不透明感や、一月の米鉱工業生産指数は前月比〇・二%上昇、予想は〇・三%上昇ことや原油の下落などのマイナス材料もあつたが、日本の十一～十二月期のGDPが二・二%増と3四半期ぶりにプラスだったこと、ギリシャが欧州とも会合で四ヶ月の支援の延長に応じることで合意し、支援が延長されることでFRBのイエレン議長の議会証言を受けて利上げが遠のいたとの認識からしり下り、二月四日現在、後半スタート価格から一三四ドルUPの五、八五五ドル。銅建値は七六万円のスタートとなつた。

◆前月の経済指標

八五九六〇六五四

日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前年比九・七%減の八万台、一九八台で

1

◆新設住宅着工戸数
国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前年比一二%減の六万七、七一三戸であつた。
日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数（軽除く）は前年比一四・一%減の二八万八、三四八台。

◆貿易関連指標
輸出

財務省貿易統計によると、輸出は前年比で電気銅が〇%の三万八、六〇九t、スクラップが

ラップク銅先生達のトレンド変わらず

卷之三

六四

(四面より続く)

自動車

二月の国内自動車販売台数（軽は除く）は二八万八、三四八台で前年比一四・二%減。六力月連続マイナス。うち、乗用車六・八%減、貨物七・七%増、バス七・九%減。

平成二十七年

七一三戸で、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の影響が大きかつた前年同月比では、一三・〇%減となつた。一方、そのような影響のない前々年同月と比べると、一・三・三%減となつてゐる。また、季節調整済年率換算値では八六・四万戸（前年比二・一%減）となつた。
前年同月比では一二カ月連続の減少（前年同月比一八・七%減、季節調整値の前年比では二・一%増）。
（貸家）
前年同月比では七カ月連続の減少（前年同月比二

○ · 三
%

(分譲住宅) 前年同月比では三カ月連続の減少(前年同月比一・二%減、季節調整値の前月比では〇・七%増)。

（分譲マンション）

比
前年同月比では二ヶ月連続の減少
前年同月比減
(前年同月比減)

前年同月比で
二九・七%減。

【伸銅品生產】

マイナス。輸

六力月連続プラス。銅条一萬九、六七〇〇で、一・八
%増と一八力月連続プラス。黄銅棒は、一万四、三
〇一±で四・二%減と六力月連続マイナス。
堅調な銅条に対し、黄銅条、銅管、黄銅棒が
前年対比でマイナス。
一月からの甚済に変化なし。

一月からの基準

前年比で四・四%減の五万九、二〇〇t。うち国内六・六%減、輸出が七八・八%増。

【輸入】電氣銅が三〇・七%減の四、一〇一t。
スクラップは二三・二%減の七、二三三t。
【見通し】

・自動車は生産が前月に続き減少の九・七%減。また一月の国内販売台数も前年比一四・二%減と減少幅も拡大。
販売の減少が六ヶ月連続、継きメーカーもそれに伴い生産を調整している。輸出は四・六%増。
生産台数、販売台数共に減少幅が拡大している。輸出はそれなりに堅調だがこれ以上の輸出の大増は考えにくく、全体としては三月

もさえない結果になるのでは
・新設住宅着工数は前年比

・新設住宅着工数は前年比二三%減。季節調整済年率換算値で八六・四万戸（前月比二一%減）と、一〇カ月連続減で、季節調整済換算では五カ月ぶりマイナスであり、三月も期待できないのでは。

・伸銅品 前月はプラスだったがマイナスの前年比一八%減。銅条は輸出を中心堅調さが見られたが、黄銅棒その他は住宅関連の低調さを受けて調整が続いた。

今月も伸銅品生産は板条の増加に支えられている面もあり、内需に期待したいが、三月も内需が急回復するとは考えにくい。

・輸出は一八〇円レンジの大幅な円安トレンドや、自動車、住宅生産の減少による需要減や先行き不透明感、年末の整理売りも加わって、スクランブルが大幅増加したとの見解。

・輸入は内需の不透明感や大幅な円安に伴う割高感から減少したとの見解。

【スクラップ需給予想】
電気銅在庫が七〇〇円から七六〇円まで急騰した過程で底漬け玉がある程度発生したが、伸銅品生産の減少に伴い発生薄のトレンドは変わらず実質は在庫薄状態。
メーカーは伸銅生産の減少や中国全人代で政治、経済的に停滞気味であるが、建値の回復や、在庫薄から購入意欲はあるとの予測から、供給不足との見解。

【価格・為替予想】
今月は、中国全人代でのGDP目標数値と景気対策に左右される。

七年(一九四二)概算額に關しては、四年増一倍
が、三年と同様の七・五%増で実績は七・四%増
ただ、五年に關しては、地方政府のGDP成長
目標が昨年に比べ低下しており、特に成長目標の
引き下げが大きかった行政区を見ると山西省
〇・四年目標九・〇%より、〇・五年目標六・〇%、
以下同じ)、黑龍江省(八・五%リ六・〇%)、遼
寧省(九・〇%リ六・〇%)といつたことから、
7%増まで引き下げられるのではないか?
景氣対策に關して前記GDPの低下を受けて、

金融手段の他にインフラ系の大規模な景気対策が行われ可能性が高いのではないか?

い数値で、インソーラ系の人気機種な電気炉鏡が引
画された場合、一月後平高価付加の六、(六)ドル
ルを予測。いずれかの場合は五、七(七)ドル。
下値はいずれの条件も達成できなかつた場合、
もう一段安値の五、五〇〇ドル。

為替は、米F.R.B.の議会証言で利上げについて六月から九月にずれ込むとの認識から一時的にドル安円高に振れたものの、好調な米経済指標から三月中も現水準がつづくのではないか？
今後、米経済指標の悪化が進んだ場合、上値は一一八円台。下値は特に新規材料難の場合一二〇円台と予測。(TTM)
銅建値に関しては八九〇～七六〇円程度と予測している。